

# 2025年問題を考える

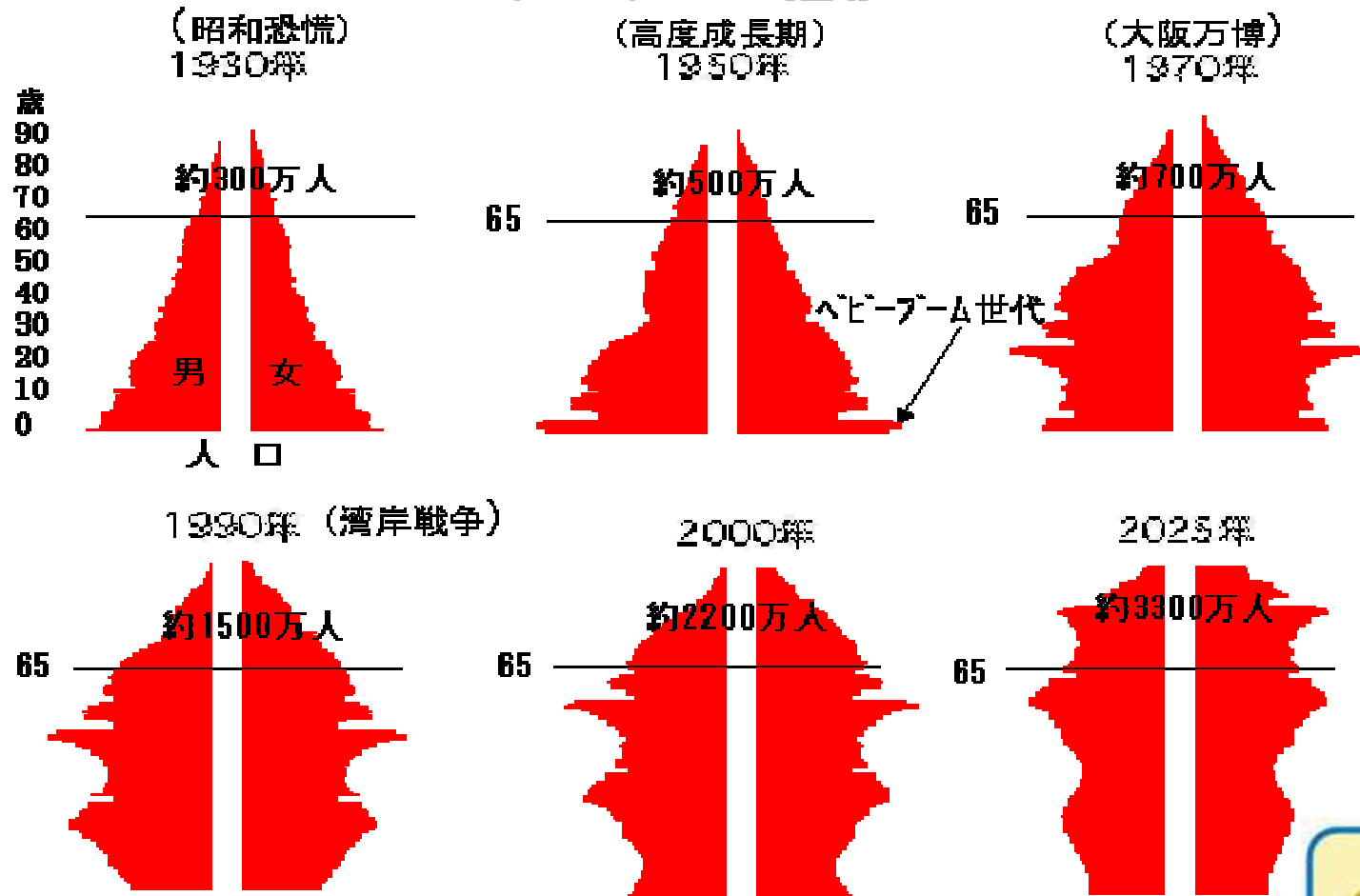
私たちはどうすべきか



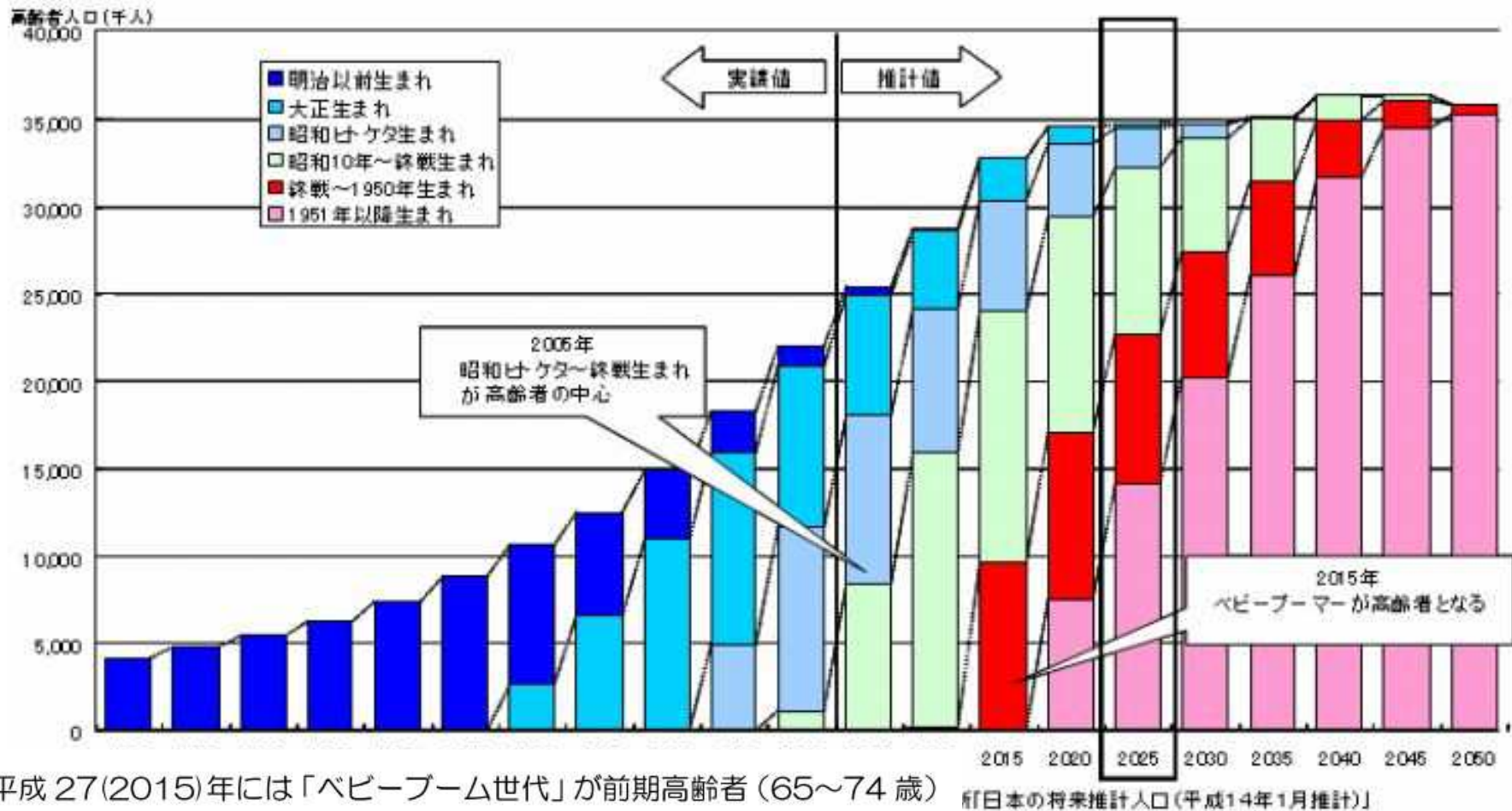
# 2025年問題とは

団塊の世代が75歳（後期高齢者）になる。

## 人口ピラミッドの推移 国立社会保障・人口問題研究所より



# 高齢者比率の推移



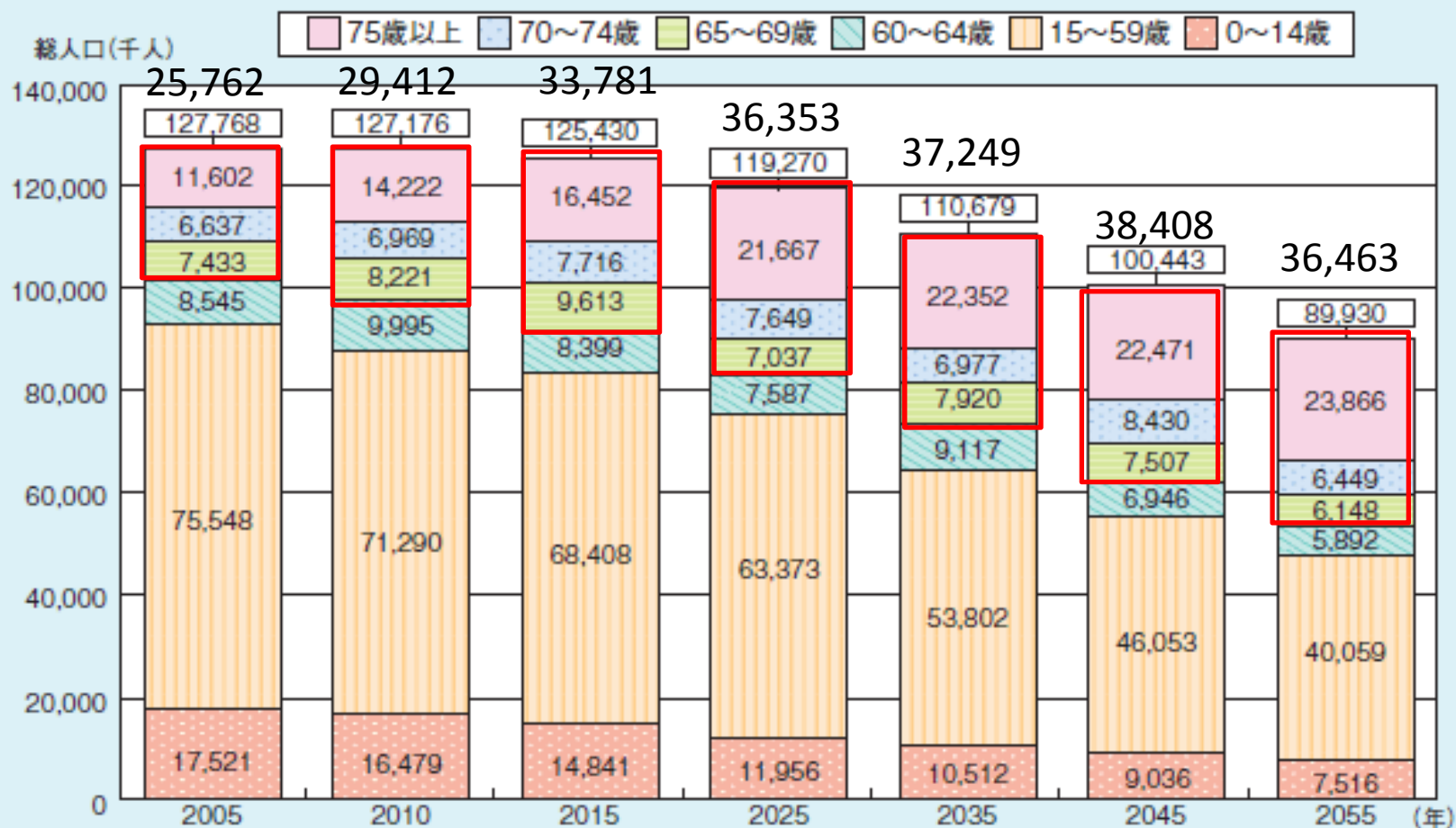
○ 平成 27(2015)年には「ベビーブーム世代」が前期高齢者(65～74歳)に到達し、その10年後(平成 37(2025)年には高齢者人口は(約 3,500万人)に達すると推計される。(図1)

○ これまでの高齢化の問題は、高齢化の進展の「速さ」の問題であったが、平成 27(2015)年以降は、高齢化率の「高さ」(=高齢者数の多さ)が問題となる。



図 1-1-3

年齢区分別将来人口推計



資料：2005年は総務省「国勢調査」、2010年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成18年12月推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果  
 (注) 2005年の総数は年齢不詳を含む。

全人口減少 高齢者人口増加



図2 高齢一人暮らし世帯数の推移



資料: 総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」、「日本の将来推計人口」

一人暮らし世帯の増加





表1 認知症高齢者数の見通し

要介護者の認知症老人 自立度 (2002年9月末現在)		要介護者 要支援者	認定申請時の所在(再掲) 単位:万人				
			居宅	特別養 護老人 ホーム	老人保 健施設	介護療養型 医療施設	その他の 施設
<b>総 数</b>		<b>314</b>	210	32	25	12	34
再 掲	認知症自立度Ⅱ以上	<b>149</b>	73	27	20	10	19
	認知症自立度Ⅲ以上	<b>79</b> (25)	28 (15)	20 (4)	13 (4)	8 (1)	11 (2)

将来推 計	2002	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
認知症 自立度Ⅱ 以上	<b>149</b>	<b>169</b>	<b>208</b>	<b>250</b>	<b>289</b>	<b>323</b>	<b>353</b>	<b>376</b>	<b>385</b>	<b>378</b>
	6.3	6.7	7.2	7.6	8.4	9.3	10.2	10.7	10.6	10.4
認知症 自立度Ⅲ 以上	<b>79</b>	<b>90</b>	<b>111</b>	<b>135</b>	<b>157</b>	<b>176</b>	<b>192</b>	<b>205</b>	<b>212</b>	<b>208</b>
	3.4	3.6	3.9	4.1	4.5	5.1	5.5	5.8	5.8	5.7

※ 下段は、65歳以上人口比(%)

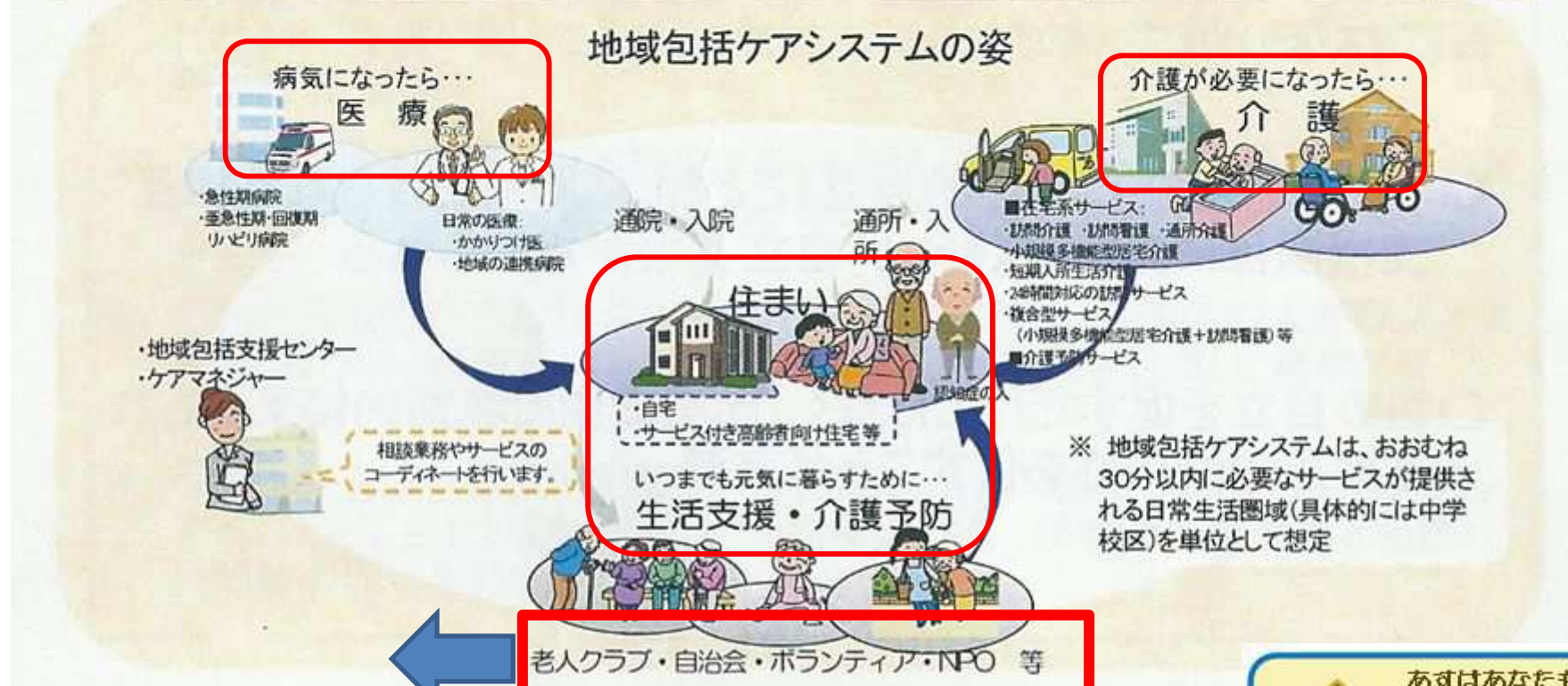
(平成15年6月 厚生)

認知症患者増加



## 地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。
- 地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



あすはあなたも  
**高齢者**

広範な課題

# 2005年問題

||

超高齢者社会

人間の生き方

生活の安全安心

居場所づくり

介護予防

認知症

終末期医療

行政制度

医療

介護

成年後見

# 共助のためのネットワーク

